交差点

第20代会頭に就任して

秋田商工会議所会頭　辻　良之（昭和50卒）

昨年の十一月一日の秋田商工会議所臨時議員総会において、第二〇代会頭の職を拝命致しました。

父が長くその職にあったこともあり、また、三浦前会頭の下で二期六年間、副会頭を務めさせていただいておりましたので、その激務の度合い、責任の重さは、自分なりには感じておりました。

しかし、就任して半年が経過しましたが、経験的にも能力的にも自分の未熟さを思い知らされ、毎日が勉強の連続で、何とか自分を見失わずに、与えられた三年間の任期を全うできるように精進してまいる所存でございます。

「秋田商工会議所 2023年新年祝賀会」にて

私はこの任期の中で、三浦前会頭が掲げられた「新たな挑戦で元気創出」を継承し、今後の秋田の発展に向けて、次の五点に特に力を入れて取り組みたいと考えております。

まず、一点目は「カーボンニュートラルへの取組み」です。ご存じの通り秋田は今、洋上風力発電が全国的に注目を集めておりますが、風力に限らず、地熱、水力、バイオマス等の再生可能エネルギー供給の先進地域としての優位性を、地域振興の千載一遇のチャンスと捉え、関連産業のサプライチェーンの構築や人材育成、新規事業への県内企業の参画に関わっていきたいと考えております。

二点目は、「秋田市中心市街地の活性化」であります。「あきた芸術劇場ミルハス」がグランドオープンし、中心市街地の来訪者も増えてきております。今後は芸術文化ゾーンとしての魅力の向上、集客の促進に繋がるよう、さまざまなイベントを開催し、さらに千秋公園の魅力を掘り下げ歴史観光の核となるように努めてまいります。

第三に「秋田港の港湾機能の強化」です。秋田港湾計画に記されている岸壁等の整備はもとより、秋田港アクセス道路の早期整備、秋田道秋田北ＩＣ・秋田南ＩＣの4車線化整備についても、関係機関との協議を重ね、強く要望してまいります。

第四は、「環日本海交流の推進」です。秋田商工会議所は、過去三代の会頭が、環日本海の交流に力を入れてこられており、日中韓露の四地域による経済交流会議の枠組みが合意されております。政治的にも現在の国際情勢では非常に難しいところがありますが、情勢をよく見極めた上で、国際交流に取り組んでまいります。

そして第五は「中小・小規模事業者への経営支援」であります。コロナや経営コストの上昇、人件費負担増で苦しむ中小・小規模事業者に対し、国、県、市の新たなる支援策を活用した経営指導員による伴走型支援に加え、中小企業活性化協議会や事業承継・引継ぎ支援センター等の組織を総動員し、再生支援、後継者対策にも取り組んでまいります。

秋田商工会議所は本年創立百十六周年を迎えます。これまで幾多の困難を乗り越え、この歴史と伝統に刻まれた先人たちの思いを是非、次世代の人たちに引き継ぐ役割があると思います。同時に今、秋田は長きに亘った停滞から変革への大転換期にあると認識しております。秋田商工会議所会頭として、将来に希望の持てる秋田の創造に向け、行動してまいる所存でございます。

どうぞ同窓会の皆さまにも、今後とも宜しくご指導、ご鞭撻（べんたつ）の程をお願い申し上げて挨拶と致します。

Profile

つじ・よしゆき／1956年秋田市生まれ。慶應義塾大学法学部卒。総合商社勤務を経て2004年秋田いすゞ自動車 代表取締役社長に就任。現在、辻兵商事・辻不動産の社長、グループ企業である富士フイルムBI秋田・コマツ秋田等の会長の他、複数の地元企業取締役、県内外の業界団体役員を兼務する。2022年11月に秋田商工会議所会頭に就任。現在に至る。秋田高校同窓会副会長。